

# 労働局

働くひとの笑顔のために

～労働局は、地域における総合労働行政機関として次の行政分野を総合的かつ一元的に運営しています～

・・・試験区分・・・

○労働基準監督官採用試験

労働基準監督官

○国家公務員一般職試験

ハローワーク

雇用環境・均等室

労働基準監督署

## ハローワーク 公共職業安定所

全ての人々が、その能力を最大限に発揮して働けるようにするとともに、人材を求める企業のニーズに応えること等を目的とする行政分野です。

求職者と求人者を結びつける職業相談・職業紹介、労働者が失業した場合の失業等給付の支給、障害者・高齢者などの就職促進等の業務を行っています。

また、再就職に必要な技能を身に付けるための公的職業訓練などを支援する施策なども行っています。

## 雇用環境・均等室

労働者が性別により差別されることなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、能力を十分に発揮できる雇用環境を整備すること等を目的とする行政分野です。

雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保、労働者が仕事と育児・介護を両立するための環境整備などの業務を行っています。

## 労働基準監督署

労働条件の向上、労働者の安全と健康の確保を図ること等を目的とする行政分野です。

労働基準に関する法令や通達に定める措置等について、行政指導等を行うことにより、賃金の確実な支払い、不適切な解雇の防止、長時間労働の抑制、労働災害の防止などを推進するとともに、労災保険制度の運営等の業務を行っています。



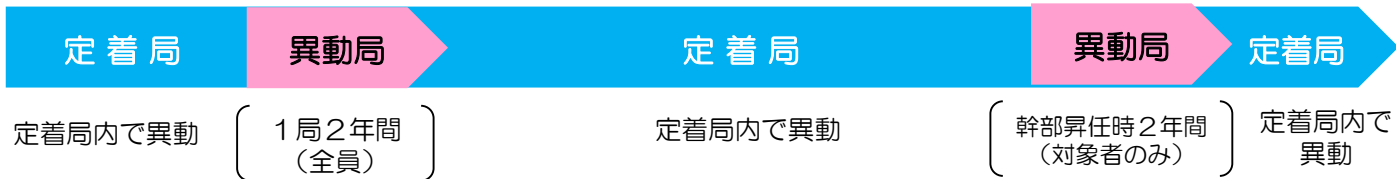
「アルバイトの労働条件を確かめよう！」キャラクターたしかめたん

国家公務員一般職試験受験者のみなさんへ

## キャリアパスの例 (国家公務員一般職)

入省 おおむね5年目 おおむね7年目

基本的には県内の転勤です



採用後、本人が希望する県の労働局(定着局)内で4年間勤務し、その後、中国ブロック内の他県の労働局(中国ブロックは鳥取、島根、岡山、広島、山口)を1カ所2年間勤務して、定着局に戻ります。

また、定着局では、定期的(2～3年ごと)に定着局内の労働局・ハローワーク・労働基準監督署を異動することで、様々な業務を経験し、労働行政全般に係る知識を身につけることになります。

### 先輩からのメッセージ

労働局と聞いて皆さんはどんな仕事をイメージしますか? 「労働」と名前がつくので「働くことに関する仕事」という想像はつくかもしれませんが。

私も最初はそのくらいの知識しかなく、県内を中心に異動できることに魅力を感じ、入局を決めました。入局5年目に他県で働く機会がありますが(私もまさにその最中です)、2年間と期間が決まっているので、期間限定の貴重な経験と捉えて前向きに過ごしています(人脈も増えるし、結構楽しいです)。

また、入局して日々感じていることは、労働局には優しい先輩や面白い先輩が多いということです。充実した職業生活を送るには「どんな仕事をするか」はもちろん大切ですが、「どんな人と一緒に働くか」ということも大切です。

少しでも興味がある方は、まず説明会に参加してみてください。

☆一緒に働ける日を楽しみにしています☆



平成26年度(一般大卒)採用

### 採用後はどこに配属されるの?

A 労働局やハローワーク、労働基準監督署に配属されます。

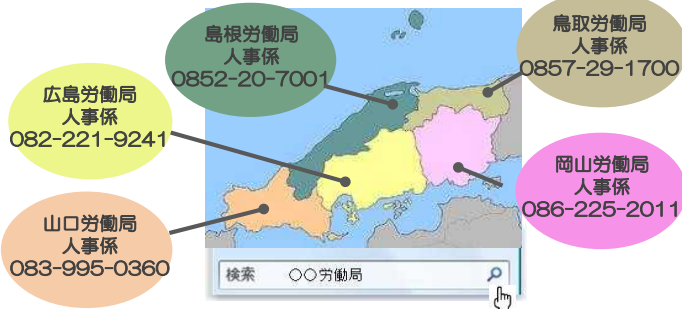
### 研修はどうなっているの?

A 採用後にブロック内の労働局で『新規採用職員研修』を行います。その後も、埼玉県朝霞市にある労働大学校で『基礎研修』や『上級研修』、それぞれの業務に関する『専門研修』などがあり、研修制度は充実しています。

その研修で全国の仲間とも交流を深めることができます。



ハローワーク下関キャラクター ハロフくん



労働局の詳しい仕事内容や採用情報はここから



労働基準監督官の業務紹介や先輩からのメッセージなどの情報はここから

労働基準監督官採用試験受験者のみなさんへ

## 労働基準監督官について

労働基準監督官は、**国家公務員一般職試験ではなく、専門職試験の『労働基準監督官採用試験』合格者から採用され、労働局や労働基準監督署で働きます。**主な業務は下記のとおりです。

- ① 労働基準法、最低賃金法に基づき、労働者の労働条件の確保向上を図る。
- ② 労働災害を防止するため、事業場への立入調査、指導を行う。
- ③ 仕事や通勤途上の死傷に対し、労災保険の給付（休業補償）の決定を行う。



平成30年度採用 労働基準監督官

### 先輩からのメッセージ

「労働基準監督官」という言葉は聞きなじみのないものだと思いますが、まさに労働者の労働環境を影から支える縁の下の力持ちです。

業務を行うにあたり労働法の知識が不可欠ですが、何の心配もありません。研修で労働法の知識を深めることができ、同期との絆も深めることができます。また、気軽に先輩や上司に相談でき、丁寧に教えてもらえます。

「働く人たちの労働環境を改善していきたい」「困っている労働者を助けてい」、そんな熱い思いを持っている方、労働基準監督官になって是非一緒に働きましょう。

広島新卒応援ハローワークキャラクターハロー...



### 労働局のワークライフバランスについて



岡山労働局 訓練室ゆるキャラ ももライダー

労働局は働きやすい職場作りを目的として指導等を行っている行政なので、そのためにはまず自らが率先して職場環境を整えていく必要があります。

マンスリー休暇（月に少なくとも1日年次休暇（有給休暇）を取得する制度）の徹底により、有給休暇を取得しやすい環境が整っていますので、実際に職員がたくさんの有給休暇を取得しています。

また、育児休業については、女性はもちろん取得率100%です。男性についても取得率が高く、「平成29年度仕事と家庭の両立支援関係制度の利用状況調査」で厚生労働省は全省庁中1位になりました！

それ以外にも、野球やサッカー、マラソンなどサークル活動も盛んで、有志で集まって職員同士の交流を深めています。野球は中国5県の労働局それぞれにチームがあり、年1回大会も開催しています（ちなみに平成30年は広島労働局が優勝しました）。

職業生活を充実させるためには、プライベートの充実が欠かせません。

**労働局は職員のワークライフバランスにも力を入れています！**

### ▲ 墜落災害現場で足場の確認をする監督官



#### Q 採用後はどこに配属されるの？

A 採用後、本人が希望する県の労働局（定着局）内の労働基準監督署に配属されます。

#### Q 転勤はどうなるの？

A 採用後、労働基準監督署で2年間勤務し、その後2年間他県の労働局で勤務して定着局に戻ります。そして、定着局内で勤務し、一定期間後に再度他県の労働局で2年間勤務して定着局に戻ります。

また、定着局では定期的（2～3年ごと）に県内の労働局・労働基準監督署の各部署間を異動します。

#### Q 研修はどうなっているの？

A 採用後1年間は監督関係業務についての基礎研修及び実地訓練を受けます。この間に埼玉県朝霞市にある労働大学校で実施される中央研修（前期及び後期）を約3ヶ月にわたり受講することになり、その後も専門研修等が実施されています。

